

グリーンカーテンを 作ってみよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▶7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

▶13 気候変動に具体的な対策を

グリーンカーテンは、つる性の植物を日のあたる窓の外に這わせて作る自然のカーテンです。夏の暑い日差しをやわらげ、室温の上昇を抑える効果があります。また、植物は根から吸った水を葉から水蒸気として排出しますが、そのときに周りの熱を奪うので、グリーンカーテンの周りの空気は、ひんやりしています。（これを蒸散作用といいます。）



クーラーをつけると、部屋は涼しくなりますが、外に暑い空気を出すうえに、多くの電気を使います。そのためには、電気を発電所で発電しなければなりません。発電所では多くの化石燃料を使い、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が大量に排出されます。地球温暖化はとても深刻な環境問題です。私たちが力を合わせて少しでもくい止めなければなりません。このグリーンカーテン作りは、家庭でもできる地球温暖化対策のひとつです。さあ、今から始めてみましょう！

グリーンカーテンには
こんな効果も...



見ているだけでも
涼しさを感じた！

家の前を通る人に
声をかけてもらって
地域の交流が増えた！

ゴーヤのおかげで
夏バテしなかった！

見た目が涼しげなだけ
でなく、緑が自宅にある
ことで癒される♪



グリーンカーテンの作り方は次のページから！

グリーンカーテンの 作り方



コンテストに参加してくれた
みなさんからの声も参考に
してみてくださいね！



1 用意するもの

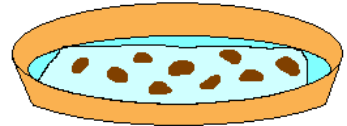
種、培養土、ネット、(プランター、支柱、肥料)
※種とネットはコンテストに参加登録するともらえます！

グリーンカーテンを作るのに
ポイントとなるのはこの2つ！

- ①水やりをしっかりすること！
- ②愛情をもって育てること！



2 種をまく準備をしましょう！



種をまく前に、一晩水につけておくと芽が出やすくなります。



ゴーヤの種は、種の先のとがった部分をハサミや爪きりで切って、水につけておくと白い根が出ます。

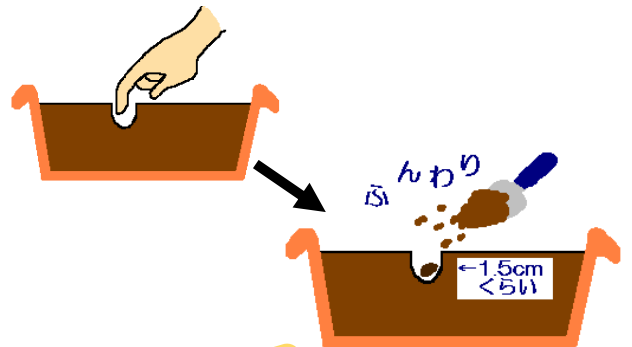
成功したよ！

種をプランターにまく前に、小さなポットにまいて成長のいいものだけを移しました。



3 種をまきましょう！

プランターに植える人は、土を入れる前に小石を敷いておくと水はけがよくなります。
その上に土を、ふんわり空気が入るように入れます。
指で1.5cmぐらいの深さの穴を作り、種をまきます。
種をまいたら、ふんわり土をかぶせて水をあげましょう。



成功したよ！

風船かずらの発芽は遅いので、種を水に一晩つけてばら撒くだけでいいです。



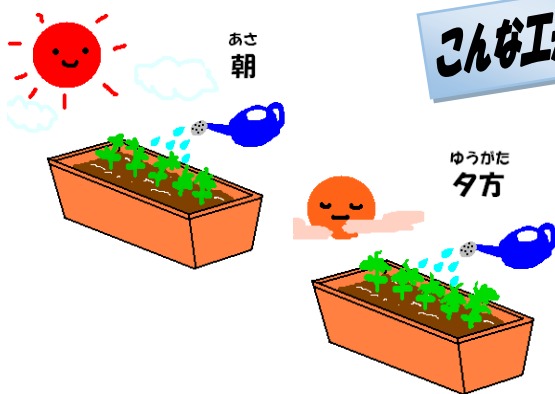
アサガオの種は丸いほうを上にして。水につけて根が出たものは、根を下にして植えましょう。



4 愛情を持って育てよう！

種を植えたら次は水やりです。愛情をもって水やりしましょう。水はプランターの底から水が出るまで与えます。ただし、水のやりすぎには気をつけましょう。根が腐ってしまうおそれがあります。土の表面が乾いたらやるようにしましょう。

本葉が出始めてからは、茎や葉がぐんぐん成長します。プランターは水分の蒸発・流出が早く、しかも伸び盛りになるとよく乾くので、毎日朝夕2回水を十分あげるようにしましょう。（※天候や、土の湿り具合など様子を見て、水の量や回数は調節してください。）



がんばりましたよ！

- ・雨水、風呂の残り水、米のとぎ汁をあげました！
- ・クーラーの除湿機から出る水を夕方の水やりに使いました！
- ・2Lペットボトルに口をつけて少しずつ水が出るようにプランターに挿しました！



間引き

プランターで育てている場合、苗が込み合っていると生育が悪くなるので、太くて丈夫そうな苗を残して間引きをしましょう。

失敗しました…

一つのプランターに苗を植えすぎたためか、大きく育ちませんでした。



5 ネットを張ろう！

つるがのびる前にネットを張りましょう。ネットはピンと張るとつるが絡みやすくなります。支柱を通して固定するとピンと張ることが出来ます。

◆ネットを張るときは設置場所に注意しましょう◆

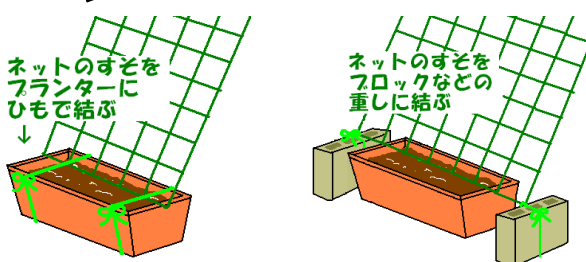
- ・防災面で危険が生じますので、全面を塞がないようにしましょう。
- ・避難経路を塞がない場所に設置しましょう。

コンテスト入賞者のアイデア



ネットを使わず、支柱を利用して、ひもを等間隔に張ってつるを這わせています。

設置のアイデア



成功したよ！

植物の重みでネットがたるまないように、細かい間隔で固定しました。

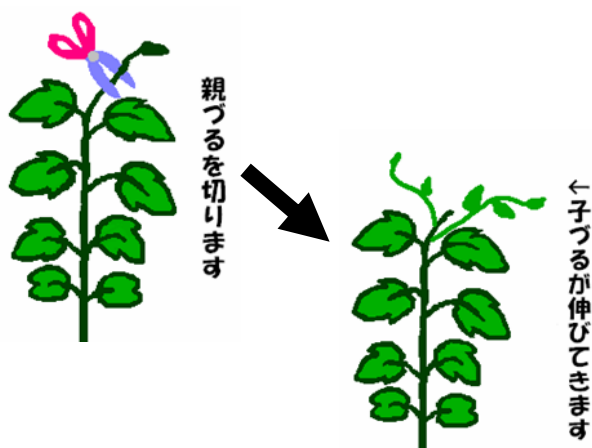




6 つるが伸びてきたら

つるが50cmほど伸びたら、ネットにつるを這わせてあげましょう。つるはネットに巻きつきやすいように、ひもで結んで固定してあげるとつると同じで絡まずキレイに這わせることができます。

ある程度までつるが伸びたら剪定をしてあげるとつるや葉が横に広がるようになります。



失敗しました...

つるが伸びる前にしっかり固定しなかったので、思うところに登らず隙間が出来てしまいました。



肥料をあげよう

より大きなカーテンに育てたい人は肥料をあげましょう。化学肥料などは7日から10日に一回程度あげましょう。生ごみ処理機やEMぼかしを利用して作った自家製肥料や米のとぎ汁を与えると、環境にやさしいですね。

成功したよ!

週に一回くらい液肥をあげました。



グリーンカーテンができればコンテストに応募するステキな写真を撮ってね!



7 種を収穫しましょう

種は実が茶色くなり、乾いてきたら収穫します。陰干しで乾燥させてから、通気性のよい涼しい場所で保管しましょう。ビニール袋などに密閉するとカビが生えてしまう恐れがあるので避けます。種を紙袋に入れて、乾燥剤と一緒にビンに入れ、冷蔵庫で保管しておくのもいいでしょう。

後片付け～来年に向けて～

来年の夏に備えて後片付けをしましょう!

【つる】ネットからはがした後は、可燃ごみで捨ててください。根を抜いてしっかり枯らすと、ネットからはがしやすくなります。

【土】新しい土や、改良材を入れて、再利用しましょう。来年のために、根などの不純物は取り除いておきましょう。

【ネット、プランター、支柱】

日光に当たっていると劣化してしまうので、日陰に保管しておきましょう。



いろいろな植物に挑戦!!

定番のゴーヤやアサガオ以外にもつる性の植物はたくさんあります。今回は「食べられるグリーンカーテン」を中心にいくつかご紹介します。みなさんもいつもと違う植物で、グリーンカーテンを楽しんでみませんか？

◆パッションフルーツ（トケイソウ）

葉の繁る期間が長く、4～10月ごろまでカーテンを育てることが出来ます。果実は甘酸っぱく、南国のフルーツらしい風味を楽しめます。

開花しても1日で萎んでしまうため、人工授粉をすることで結実しやすくなります。そのため、開花しているのを見つけたら、なるべくその日のうちに授粉を済ませることがポイントです。



◆ナタマメ(白ナタマメ)

つるが4mくらい伸び、葉も大きくよく繁るのでカーテンにおすすりです。30～40cmにもなる大きな果実が実ります。昨今の健康志向からナタマメ茶が有名ですが、古くから漢方薬としての利用や福神漬けなどで食されてきました。

また、ナタマメの仲間 tachinatamame という種がありますが、毒性があるため食用には向きません。ナタマメにも毒性があるものとないものがあり、白ナタマメ（白い花・豆）には毒はありませんが、赤ナタマメ（赤い花・豆）には、若干毒がありますので注意が必要です。



◆オカワカメ(アカザカズラ)

暑さや病気に比較的強く、初心者でも育てやすいです。葉やムカゴを食べることができ、葉は加熱するとぬめりが出るのが特徴です。

ただし、ほとんど枝分かれしないため、グリーンカーテンにするときは、栽培初期から頻りに摘心し、分枝する必要があります。

